

平成 30 年度 第 3 回大津町都市計画審議会 議事概要

【日 時】平成 30 年 11 月 19 日（月）13：30～15：15

【場 所】大津町役場 大会議室

【出席者】出席：田中 智之委員、藤本 猪智郎委員、津田 桂伸委員、荒木 俊彦委員、
永田 和彦委員、工藤 智之委員、森 博昭委員、西本 哲治委員、
吉良 登美雄専門委員

欠席：府内 隆博委員、佐藤 真二委員、美野 洋一専門委員、本田 純一専門委員

事務局：大田黒土木部長、村山都市計画課長、齊藤課長補佐、蔵森

玉野総合コンサルタント株式会社：中本

【次 第】

1. 開 会

2. 委員紹介

3. 会長代理の指名

4. 議題

- ・平成 30 年度第 2 回都市計画審議会での指摘事項とその対応について **資料 1**
- ・地域別構想までの修正について **資料 2**～P135
- ・実現化方策について **資料 2**P137～
- ・パブリックコメントについて **資料 3**

5. 閉会

【資 料】

資料 1 平成 30 年度 第 2 回大津町都市計画審議会 議事概要

資料 2 都市計画マスタープラン改定版

資料 3 パブリックコメントについて

----- 議 事 概 要 -----

○委員紹介

学識経験者が欠員となったため、藤本 猪智郎氏に委員を委任する。

○会長代理の指名

会長代理について、会長より学識経験者である藤本委員を指名。

○議題

1) 平成30年度第2回都市計画審議会での指摘事項とその対応について 資料1

頁※	委員会からの意見概要	対応概要
		<p>前回ご指摘いただいた内容につきまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「機能連携型コンパクトシティ」につきまして、「これらの多様な機能がある拠点市街地、集落が地域公共交通等により連携が図られた、機能連携型コンパクトシティを構築します。」に修正しました。 • 満足度・重要度に関する設問のグラフにつきましては、都市マスに関する意見の相対的な位置が確認できるように、都市マスとの関連の低い項目も記載しています。 • 北部、中部、南部地域のテーマを、北部「豊かな緑に包まれ明るい声ひびく安心・安全な北部地域」、中部「町の発展を支える都市機能が充実し住みよく活力のある中部地域」、南部「白川と広がる安心・安全で住みよい南部地域」に修正しました。
	<ul style="list-style-type: none"> • この計画を町民に周知することが大切。どのように周知するのか。 • 何か集まりがあった時にも周知してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページで公表します。パブコメ時は、広報を通じて都市計画課や生涯学習センターなどで閲覧できることを周知します。 • 計画を住民に知ってもらうことは大切です。全戸配布が理想だと思いますが、見てもらえないかもしれません。策定された都市マスにつきましては活用方法を工夫させていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> • 概要版は作成するのか。 • 概要版は、全戸配布するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 作成します。 • 全戸配布は考えていませんが、区長会などでの配布を想定しています。 • ホームページでは、まず概要版を見るので、分かりやすいものを作成願いたい。

<p>資 4 123</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 資料1 P5テーマについて、前回会議でのご意見を踏まえ、事務局と会長で考えた。ご意見をいただきたい。 • 南部は道路が弱い。道路整備に関するスローガンのあるとよい。 • 岩坂陣内線など真ん中に道路ができると変わると思う。 • 予算がないからできないではなく、実現に向けよろしくお願ひしたい。 • 南部のテーマに「安心・安全」とあるが、安全があつて安心するので「安全・安心」が良いのではないか。 • 空港に関連させたり、大きな施設ができたりすれば道路整備の優先度が高まるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 県に道路整備をお願いしています。他の道路の整備が進むにつれ優先度が高まると考えます。 • 振興計画では、「安全・安心」に変わったと思います。 • 北部、南部のテーマについて、「安心・安全」は「安全・安心」に変更し、南部を「<u>住みよく利便性の高い</u>」と訂正します。
	<ul style="list-style-type: none"> • 資料1 P2、資料2 P9の地域公共交通等には乗合タクシーは入っているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> • 入っています。

※今回配布資料のページ番号を示す

2) 地域別構想までの修正について **資料2**～P135

頁※	委員会からの意見概要	対応概要
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ P1 に平成 5 2 年とあるが、西暦にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>西暦</u>で表示します。表も更新します。 ・ 他ページにおきましても、適宜西暦表示を追加します。

※今回配布資料のページ番号を示す

3) 実現化方策について **資料2**P137～

頁※	委員会からの意見概要	対応概要
125	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 1 サイクリングロード・観光ルートの設定は、南部が対象だと思うが、地図では全域を対象とした枠内にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が行われる <u>白川付近を示す形に修正</u>します。
134	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専用のサイクリングロードは、雑草の管理が大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の道路をサイクリングコースとして案内するものです。
135	<ul style="list-style-type: none"> ・ 36 水と緑のネットワーク事業はどこを示しているのか。 ・ 白川に降りることができない。川沿いに歩けるようにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑の点々が該当する区間です。 ・ 白川近くの既存道路を中心にネットワークしています。 ・ <u>図は、誤解を招くので、ネットワークの位置を白川沿いに修正</u>します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白川に降りることができるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P133 や 142 に親水空間の整備がそれに該当します。事業の中で検討していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川は、流れてくるものなので上流に目を光らせ、連携していく必要がある。 ・ 白川はもっと澄んでいた。上流側の管理をお願いしたい。 ・ 矢護川では、枯れた箇所がある。遊歩道整備や防災面に関連するので、県や国と連携し大規模な調査をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市マスに記載する内容ではありませんが、上流や下流の市町村と話す機会を設けたいと思います。 ・ 矢護川については県に相談させていただきます。
127	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり情報の共有を図る際の説明会はどこで実施するのか。 ・ 説明は中高生も対象にしていただけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に数回実施する懇談会や、区長会などがあるのでこうした機会に身近な学校などを使用して説明を行っていきたいと考えています。 ・ 中高生への説明も努めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見える計画としたい。 ・ 役割分担が必要。 ・ 事業ごとに担当課を明らかにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この計画は、庁内の各課長に参加してもらい、各課にすべきことを認識してもらいながら策定していますので、進んでいくものと考えています。
135	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の図面も短・中・長期の区分が分かるとわかりやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>短期・中期・長期の 3 枚の図面に分け</u>させていただきます。
132	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 3 番公共交通の充実の、想定される事業主体の民間の項目に○がついていないのは。 ・ 民間がやっていけるようにしていくことが理想である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難しいと思って記載していませんが、再度総合政策課に確認させていただきます。

135	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 拠点開発事業の対象区域は圃場整備されたところだが開発は可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> この区域は市街地に近接しているものの開発がされてないため位置付けました。圃場整備されてから制約のある8年は過ぎていきます。その他の制約があるかもしれませんが、開発をしていける可能性があります。
135	<ul style="list-style-type: none"> 図中の赤丸の凡例がないが。 事業や用途地域の見直しがあるので、事業等対象地域としてはどうか。 施策対象地域としては。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局で検討します。
135	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 拠点開発事業は用途地域の見直しが必要になると思うが、来年・再来年で行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> この区域の用途地域の指定は3年後以降になります。
135	<ul style="list-style-type: none"> 緑丸の凡例もない。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑丸も、赤丸のものと同様に凡例に追加します。
127	<ul style="list-style-type: none"> 計画の見直しはだれがどのようにするのか。 議会に上がれば議員が精査してくれるが、町民や外部の意見を踏まえてはどうか。 外部評価を検討してはという指摘。 P137(3)に、P1の体制など、どのような体制でしていくかがわかればよい。 P137 適切な部分に、「町民の意見を踏まえた適切な見直し」としておき、体制は、実際するときを検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当課となります。 大がかりな見直しが必要な場合は、P1に示す策定体制に準ずる形で行います。 外部評価を追加させていただきます。 そのように修正させていただきます。

※今回配布資料のページ番号を示す

4) パブリックコメントについて **資料3**

	委員会からの意見概要	対応概要
	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体や組織から良い意見があると思うので聞くべき。 団体の会合時に周知するとよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業連絡協議会や商工会などの団体に案内を出させていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 広報の原稿に、当計画の(素案)とあるが、カッコをとって当計画の素案に修正してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> そのように修正させていただきます。

○その他

特になし。